

# 文法「単語のいろいろ」(組)(番氏名)

## 目標

- 1 単語を自立語と付属語にわけよう。
- 2 単語を活用のある単語と活用のない単語にわけよう。

**復習** 次の文を例にならって文節・単語にわけよう。

(例) ハナコは 毎日 テレビを 見る。

- ① 兄は明日新しい車を買う。
- ② 白い雲が青い空に浮かぶ。

## ☆文節

文を話したり読んだりするときに、発音の上からも意味の上からも、言葉として不自然にならない程度に区切ったひと区切り。

## ☆文節の区切り方

「ネ」「サ」「ヨ」等の言葉を入れおかしくなくところで切る。

## ☆単語

文節をさらに細かくわけ、それ以上わけると言葉としての意味がなくなるか、言葉としての役割をはたさなくなるところまで区切った言葉の最小単位。

## 自立語と付属語

**練習** 次の——線部の単語は、それだけで文節をつくることができるか、それだけでは文節をつくることができないか。できるものに○できないものに×をつけよう。

- |  |                             |
|--|-----------------------------|
| ① 馴 <small>に</small> に行く。                    | ② 考 <small>え</small> てくれ。   |
| ③ 美 <small>しい</small> 。                      | ④ わたし <small>の</small> だ。   |
| ⑤ おもしろ <small>い</small> ね。                   | ⑥ こ <small>の</small> 本は読んだ。 |
| ⑦ しか <small>し</small> 、困 <small>っ</small> た。 | ⑧ う <small>ん</small> 、わかつた。 |
| ⑨ 考 <small>え</small> ます。                     |                             |

## ☆自立語

それだけで一文節をつくることのできる単語  
〈それ自身で意味がわかる単語〉

## ☆付属語

いつも自立語のあとにあり、自立語といっしょでなければ一文節をつくることのできない単語

〈自立語に付属してはじめて意味をもつようになる単語〉

**確認** 次の単語は自立語か。付属語か。自立語には――線、付属語には――線を  
けよう。

- ① すもも ももものうち
- ② きみまでもが忘れるだなんてね。
- ③ 犬はかしこい動物だ。
- ④ ゴールをめざして走った。

**活用する語と活用しない語**

**練習** 次の単語に「ない」「た」「とき」「ば」をつけるとどのような言いかたになるだろう。終わったら、他の言葉を後につけるとどうなるか、ためそう。

- ① 美しい
- ② 考える
- ③ きれいだ
- ④ (行き)たい

**☆活用** 下に続く語によって単語の形が規則的にかわること。

**確認** 次の単語は活用するか。活用する単語には――線を、活用しない単語には――線をつけよう。

- ① 午後 から 雨が 降る らしい。
- ② 博士 は 背 が 高い。
- ③ 保健室 は いつも きれいだ。

**「つたてびやくたは今日の単語は理解できたぞー」**

- ・ 単語を自立語と付属語にわけることができる。
- ・ 単語を活用する語と活用しない語にわけることができる。

**「つたてびやくたは総論だー」**

- ・ 自立語で活用のない単語、自立語で活用のある単語、付属語で活用のある単語、付属語で活用のない単語の具体例がいえる。

**自立語・付属語 練習**

**問題が難しい人は、まず、基礎をおさえよう。** ①～⑨を文節・単語に区切ろう。

- ① 文節…駅 に行く。 単語…駅 に行く。
- ② 文節…考 えてくれ。 単語…考 えてくれ。
- ③ 文節…美 しい。 単語…美 しい。
- ④ 文節…わ たしのだ。 単語…わ たしのだ。
- ⑤ 文節…お もしろいね。 単語…お もしろいね。
- ⑥ 文節…こ の本は読んだ。 単語…こ の本は読んだ。
- ⑦ 文節…し かし、困った。 単語…し かし、困った。
- ⑧ 文節…う ん、わかった。 単語…う ん、わかった。
- ⑨ 文節…考 えます。 単語…考 えます。

☆一文節の中で、上にくる単語は「それだけで文節をつくらることができる単語」。

下にくる単語は「それだけで文節をつくらできない単語」

**発展問題**

課題がおわったら、自分で短い文をつくり、単語わけをし、それぞれの単語が、「それだけで文節をつくらることができる」のか、「それだけで文節をつくらできない」のか考えよう。

**活用する語と活用しない語 練習**

**ヒント** ( ) の中に入るひらがなを考えよう。

- ① うつくし ( ) ない・うつくし ( ) た・うつくし ( ) とき  
うつくし ( ) ば
- ② かんが ( ) ない・かんが ( ) た・かんが ( ) とき・かんが ( ) ば
- ③ きれい ( ) ない・きれい ( ) た・きれい ( ) とき・きれい ( ) ば
- ④ 行きた ( ) ない・いきた ( ) た・いきた ( ) とき・いきた ( ) ば

**発展問題**

課題がおわったら、自分の好きな単語に「ない」「た」「とき」「ば」等の言葉をつけてみよう。形はどう変わるだろうか。